

INFORMATION

換気システム&セキュリティ視察見学会増加しています。
※随時受付中ご連絡ください



▲シミュレーションスタジオ視察風景。換気扇の効果がスモークの流れで確認できます。とくに排気や拡散の静圧力をご覧ください。



▲セキュリティシステムの説明会風景。テストハウス内に実際に設置されたかたちで機器の特長をお聞きください。

■視察見学会参加例：ハウスメーカー、建築設計、工務店、設備機器、白蟻消毒、一部ホームセンター

CAMPAIGN

攪拌機専用オプション
オゾナイザー7025
キャンペーン開始

オゾンは、モノ(有機物・無機物)にあたるとすぐにO2+Oに分解します。この分解時に、モノ(菌・カビ・臭い)を酸化、つまり殺菌、殺カビ、脱臭の効果があります。205型攪拌機取り付けのユーザー宅へのご提案をおすすめします。



▲205型攪拌機オプション「オゾナイザー」
キャンペーン期間：4月～12月末まで

お知らせ

サイレント仕様
ベントキャップ型換気扇
年内販売終了

ベントキャップ型換気扇50Hz/60Hz「サイレント型」を本年度限りで販売終了することになりました。なお、「標準型」品番:BF-100は引き続き販売しております。



▲50Hz/60Hzサイレント型

TOPICS

防犯意識を高める市民活動に西邦電機もお手伝い。セキュリティ機器展示コーナーにLD2デモパネルが展示されています。



LD2のリース販売開始
~他県への順次展開も
/福岡液化石油ガス事業協同組合

「変化に左右されない
強い経営体質作ろう」

理事長の話(要旨)
LPGガスの収益は競合エネルギーの攻勢、不安定なエネルギー事情や気候の影響で年々低下している。こうした要因に左右されない強い体質作りが長年の課題となっているなか、セキュリティシステムはリフォーム、不動産、介護、水、家電などのガス外ビジネスと比べて取り組みやすくメリットが多い。

■ロババン・フタンニース

「生活協同組合アイネットコープ
埼玉」の生活の自立支援システム
『Iネット』

(コールセンターを利用した「セキュリティと見守り事業」)にLD2採用

加速する高齢社会の中、お一人暮らしやご夫婦だけといった高齢者世帯・ご家族の介護を必要とする世帯は着実に増加しています。また、夫婦共働きで日中の在宅者はお年寄りやお子様だけといった世帯や、休日と夜を除きほとんど留守という家庭も数多くあり、大切なご家族の安心・安全、お住まいの防犯など、万に備えたしっかりとした対策が必要なのは言うまでもありません。
同生協は、このような組合員向けに開発した生活の自立支援システム『Iネット』に西邦電機製の防犯システム「LD2」をメイン機種として導入し、24時間・無休で専用コールセンターを通じて、防犯とご家族の見守りをセットにしてサポートする家計にもやさしい新しいサービスをご提案しています。

HISTORY OF
西邦電機小史

第17回
「人手不足をベトナム難民で補う」
- 前編 -

昭和五十二年は鹿児島市立病院で生まれた五つ子の話で幕開けしたが、二月に入ると、アメリカから航空機の売り込みをめぐって、日本政治家へ多額の工作資金がばらまかれた事実が明らかになった。前総理の逮捕にまでつながるロッキード事件の幕開けである。
このころのモータは洗濯機のモーターだった。松長電機の仕事は順調に拡大していった。四十五人でスタートした人員も、仕事の拡大とともに増えていった。新しく採用された人には、九州松本から技術員が向出し、捲線の技術を指導した。
中部、関東地区の営業を担当していた技術課長が、元の職場に復帰したのを機会に、一人で関西のほかにこれら地区も、一人でカバーするようになった。私のモータの売上は、毎月、二億円にのぼった。家庭用モーターつきモータの大口の注文をとった。松長電機に回すには、月産十万台の体制が必要となった。だが、高来町では人員確保できなかった。
佐賀県境の小長井町に、百数十人のベトナム人がいた。彼や彼女らは、小

さなポルトに、わが身と家族の生命を託し、戦火を逃れてきた難民だった。新聞などでは、ポルトビープルと呼ばれた。日本に漂着して、難民の認定を受けた後、あるいは難民認定を受けるまでの間、標高二百五十メートル椿原台地にある宗教法人聖母騎士修道女会が母体になって運営している重度心身障害児(者)収容施設「みさかえの園」の一端に身を寄せ、受け入れ国が決まるのを待っていた。
当時の新聞などによると、次のようなことがわかる。昭和四十八年一月ベトナム平和協定がパリで締結された。協定に基づいてアメリカ軍が撤退し、インドネシア半島に平和が戻るかのように見えた。だが、平和への歩みは遅々として、かえって南ベトナム政府軍と南ベトナム解放戦線との戦闘は激化した。南ベトナム解放戦線の優勢が決定的になった昭和五十年四月二十一日、南ベトナムのグエン・バン・チュウ大統領が辞任。同月三十日、ついに南ベトナム政府が無条件降伏した。この直前、南ベトナム政府の軍人や協力者の家族が、どつとアメリカやフランスに逃げ出した。
難民はベトナム社会主義共和国樹立後も後をたたく。ポルトや小船に乗って、南シナ海に乗り出した。その一部が、漂流中を通りかかった船に助けられ、横浜や神戸港に入港したり、西日本の海岸に漂着した。政府は大村市古賀島町の大村入国者収容所に収容されたが、難民の数が急増し、大村収容所だけでは対応できなくなった。人道的見地から、日本赤十字社や宗教団体が難民の引き受けを買って出た。カトリック系の聖母騎士修道女会も、いち早く難民救済に立ち上がった民間団体のひとつで、五十年五月末、横浜に入港したベトナム難民のうち約二十人を受け入れたのが最初だった。

「あいさし」
拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
全国的に異常気象ともいえる極端な暖冬でありました。地球温暖化の現実が切実に憂慮されます。業界においてはビジネス発想の転換も含め大きな節目を迎えております。相次ぐさまざまな社会の不祥事、マスコミの無責任、過剰ともいえる報道。まさにこれからのビジネスには「長期的な責任」というものが不可欠になってくるものと思われまます。
さて、ようやく換気扇の出荷については全国的に上向きになってまいりました。販売店様からひとところ比較して提案がしやすく、また話を聞いてもらえる状況へと変化してきたとの声を多数いただいております。
また床下換気扇が世の中に出て、はや二十五年前を経過しております。
そこで私どもも、この節目に再点検の意味で床下換気扇の買換え需要の喚起をひとつのきっかけとして、ユーザーの安心・安全、また新たな商品の提案に繋げていければと考えております。
つきましては販売店の皆様にご協力いただき床下換気扇設置済みユーザーへのフォローアップを実施していただければ幸いです。是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。
平成十九年 四月
西邦電機株式会社
代表取締役 大石龍也



*最新情報は こちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ (SOYINK) を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK WFF1783T-070401

